

令和元年度理科教員研修会報告書

報告者 静岡県富士見中学校・高等学校 増田 絵莉

1. 研修目的 理科教員の教養を高めるとともに、私たちを取りまく環境の変化を知る手がかりになる昆虫の具体的な生態について、認識を深める。
2. 開催日時 令和元年7月5日(金) 14時～16時
3. 会場 静岡県私学会館 5階大会議室
静岡県葵区追手町9番26号
電話 054-254-8208
4. 参加者 県内中学校・高等学校 理科教員 17人
5. 日程
13:30～14:00 受付
開会
14:00～15:30 講演
演題「環境指標としての昆虫」
講師 信州大学名誉教授・放送大学非常勤講師
中村寛志先生
15:30～16:00 グループ討議
議題「講演内容について」
「理科の課題」
6. 講演会・グループ討議の様子



7. 事後アンケートの結果より

(1) 全体を通して

- ・種多様性の評価のシンプソンの指数が大変おもしろかった。種だけでなく個体数の関係がおもしろかった。
- ・生物的な観点で環境が分かると知ることができた。
- ・いろいろなアプローチがあると関心が持てた。
- ・昆虫の具体的な生態を知ることができた、環境問題などと関連付けながら話を生徒にしたい。
- ・個々の生物に関する知識が豊富であると、環境指標としてどう利用できるか活用方法のアイデアにつながる。
- ・多様性の数値化について参考になった。
- ・多様性指数について確率が入っていることはおもしろかった。
- ・身近に存在する昆虫を使うことで授業にも深みが増すと感じた。
- ・自身の専門外の内容であったので考え方、実験方法などが参考になった
- ・グループ討議でも適切な人数で幅広く理科の話ができて良かった。
- ・専門外の分野なので、「教科書の単語」としてしかわからない用語がもつ本当の意味や分野のおもしろさを感じることができました。

(2) 今後の研修会への希望

- ・バイオテクノロジーに関する内容
- ・研修会レポートがもっと簡単な研修会がしやすい。
- ・新入試や新課程についての講演
- ・環境問題や温暖化防止についての講演
- ・講演会とグループ討議とレポートの関連付けが難しい。
- ・化学、物理系の話も聞きたい